

にしめら 議会だより

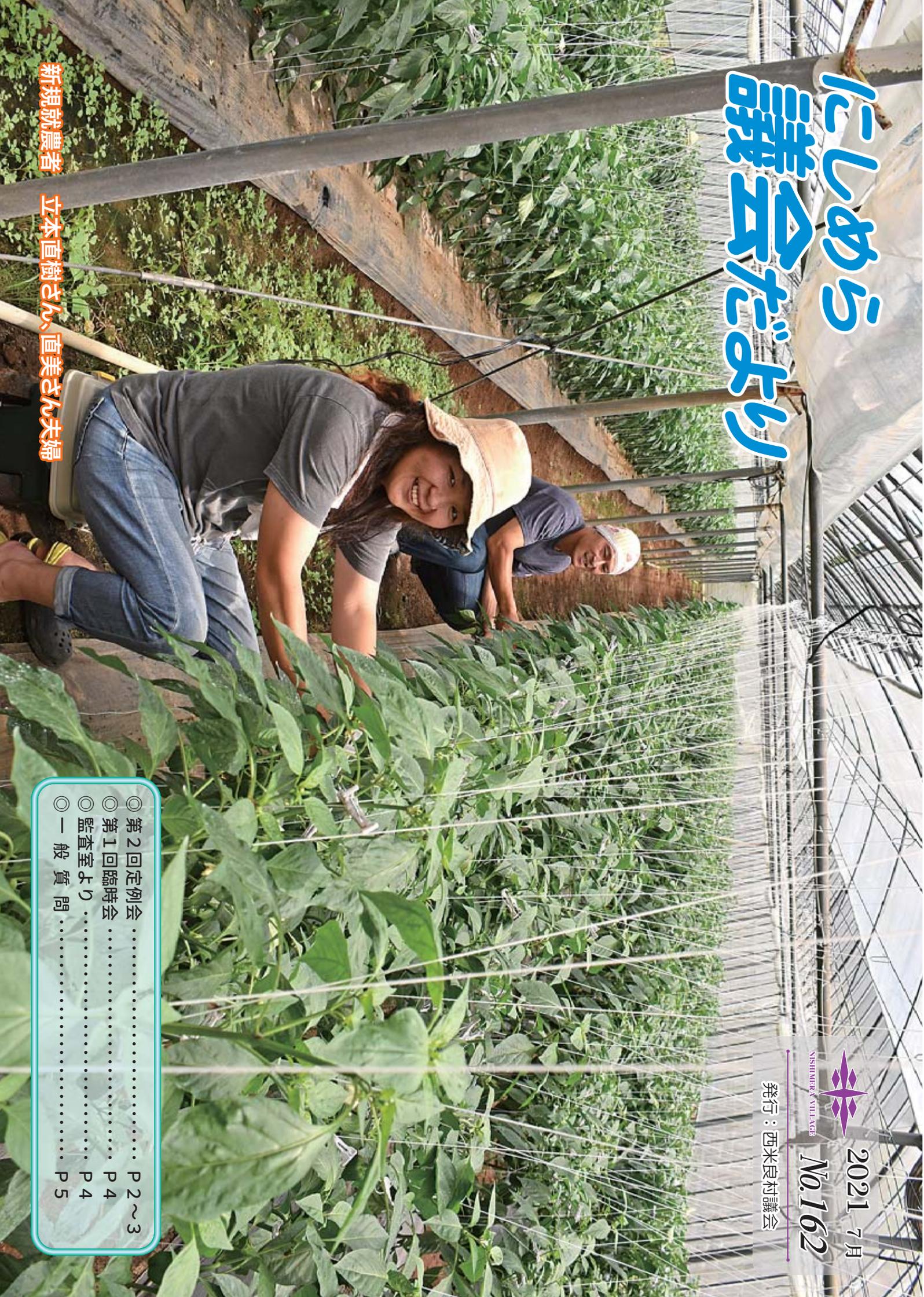


NISHIMURA VILLAGE

2021 7月

No.162

発行：西米良村議会



新規就農者

立本直樹さん、直美さん夫婦

- ◎ 第2回定例会 P 2～3
- ◎ 第1回臨時会 P 4
- ◎ 監査室より P 4
- ◎ 一般質問 P 5

第2回 定例会

6月11日に第2回定例会を開会し、報告4件、議案3件を可決した。

一般会計補正予算

今回は既定の予算総額に歳入、歳出それぞれ3千236万3千円を追加し、補正後の総額が歳入歳出ともに、26億5千59万5千円となった。主な内容は、

《歳入》村有林伐採収入 1千580万円及び、財政調整基金繰入金1千260万8千円の増額。

《歳出》総務費599万円、社会福祉費166万円、林業費残土処理整備に係る村有林伐採作業委託費1千212万円及び、調査、測量委託料650万円の増額。

質疑応答

児玉義和 林業費で予定 区種雄牛センター付近する残土処理場の場所及び、処理容量は2万立米及び処理可能容量と、伐採を予定している。

答 場所是小川、古川地 ある小川、古川地区 村有委託料の内容は？

林面積約3ヘクタールの伐採委託料である。

白石幸喜 子育て世帯臨時特別給付金の対象世帯数は？また、今後のコロナワクチン接種の予定は？

答 1人5万円の支給で6世帯位になる。

答 今後の接種対象者は423名。1回目接種は7月5日から16日まで、2回目接種が7月26日から8月6日まで。平日、1日36名を予定している。状況に応じて予備日を設ける。現在調査票を配付し、村民の希望に沿うよう接種を進める。

児玉義和 教育振興費 遠距離児童通学費の対象者は？

答 支給対象者は22名。

今回の増額は、転入児童によるもので板谷地区からの通学である。

専決処分した 事件の承認

また県内市町村税率の統一化が予定されているとあるが具体的な時期は示されているのか。

(西米良村国民健康保険 税条例の一部を改正する条例)

医療給付費分の税率を100分の7.60から100分の7.80に。被保険者一人当たりにかかる均等割額を1万7千500円から1万8千500円に。世帯ごとにかかる平等割額を1万7千500円から2万円に改正する。

答 村民の方々の負担にならないよう緩やかに上げていきたいと考えている。統一化の時期については決まっていはいないが将来を見据え取り組んで参りたい。

令和2年度一般会計 繰越明許費繰越計算書

※年度内にその支出を終わらない見込みのものについて、翌年度に限り繰り越して使用できる予算

令和2年度事業のうち、カリコボーズの宿リニューアル事業、森林資源循環利用林道整備事業、防災無線等整備事業、新型コロナウイルス感染症対

白石幸喜 保険税率を県の基準に近付けるためにどの様に上げていくのか、

令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書

応地方創生臨時交付金事業、林業用施設災害復旧事業、公共土木施設災害復旧事業など、総額6億858万1千円を令和3年度へ繰越を行う。

令和2年度水道事業繰越明許費繰越計算書

主なものは、簡易水道給水区域の拡張等に必要な変更認可申請書作成に係る委託料130万円を令和3年度へ繰越を行う。

令和2年度下水道事業繰越明許費繰越計算書

主なものは、西米良浄化センターストックマネジメント計画策定事業の委託料700万円を令和3年度へ繰越を行う。

村マイクロバス購入

入札により決定された新規マイクロバスを96万7千850円で購入する。

診療所施設会計補正予算

診療所職員の産前産後休暇取得に伴う医療事務職員1名派遣の委託料、263万8千円及び診察用パソコン購入等による99万3千円を補正し、総額が3億223万1千円となった。

質疑応答

白石幸喜 医療事務職員

の派遣期間と委託先は？

答 委託先は実績のある

ニチイ学館を中心に検討

し、期間は8月から来年3月までの予定としている。

継続調査

各委員会が今年度調査すること

総務文教常任委員会

〔調査項目〕

- 山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例

農林振興建設常任委員会

〔調査項目〕

- 森林環境譲与税の現状と今後の運用
- 有害獣対策の現状
- 農産物生産状況現地調査

議案の採決結果

○全員賛成で可決した議案等

条 例	西米良村国民健康保険税条例の一部改正
繰越予算	令和2年度一般会計事業の一部
	令和2年度簡易水道事業の一部
	令和2年度下水道事業の一部
予 算	令和3年度一般会計補正(第2号)
	令和3年度診療所施設会計補正(第1号)
財産取得	マイクロバス車両の取得
調 査	議会各委員会の閉会中における所管事務の調査

第1回臨時会

4月30日に議会臨時会を開会し、報告5件及び協議案1件について全会一致で可決した。

【条例改正】

介護保険

標準設定となる介護保険料月額が前期より200円増の5千400円となった。

西米良村税

土地の固定資産税負担調整措置が令和5年度まで、軽自動車税の環境性能割の軽減措置が令和3年12月31日まで延長となった。

【補正予算】

令和2年度一般会計(第11号)

自治体間での新型コロナウイルスワクチン接種状況や履歴を情報共有するためのシステム改修費用として99万円を補正し、総額が

34億7796万2千円となった。

令和2年度一般会計(第12号)

歳入は国・県からの各補助金等の交付額決定によるもので、歳出は各基金への積み増し等である。2億398万1千円を補正し、総額が36億8194万3千円となった。

令和2年度国保事業会計(第4号)

マイナンバーカード対応のための国民健康保険オンライン資格確認システム整備補助金139万7千円を補正し、総額が2億9575万3千円となった。

令和3年度一般会計(第1号)

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業への補助金等25万8千円を補正し、総額が26億1823万2千円となった。

監査室より

今回は定期監査の建設課関係工事完成確認検査と、例月現金出納検査及び指定金融機関(JA西都西米良支所)の監査結果について公表いたします。

工事完成確認検査

災害復旧、林道、村道の補修、保全等12か所を抽出し、建設課長及び担当の職員から説明を受けながら監査を行った。各工事ともしっかりと設計のもとに施行され、工事の完成状況も良と認めた。特に補修、保全については予算面で補助対象が少なく、対応が後手になりがちであるが、地域住民の声や、林道・村道の維持管理業務を行なってくれている那良今朝光作



<温泉館前の法面>

業員からの各種の状況報告も参考に現場調査を行い、過疎債や補助事業を上手く活用して実施し、村民の安全対策が実施されていることを評価したい。

調査対象外ではあったが、温泉館前の法面保護の吹き付けに生える草木は、小さなものなら自然的で安心感を醸すが、かなり大きな立木もある。台風等の強風で法面に悪影響を及ぼすことはないか調査の必要性を感じた。

例月現金出納検査

令和2年度の出納事務に、5～6万円の需用費の支出が令和3年3月31日に支出負担行為を行い、5月に支出されているものが4～5件あった。違法ではないが、予算の駆け込み消化と指摘されても仕方がないと思う。基本的な予算の使用について今一度確認してもらいたい。

指定金融機関

村の預貯金、20数億円の残高証明書の提出を求め村会計管理者立会いのもと村の預金台帳、通帳と照合を行い支所長、担当者より諸説明を受け監査を行った。預金等に誤りもなく業務も適正に処理され指摘事項等はなかった。

代表監査委員 黒木正近
議選監査委員 濱砂征夫

一般質問

黒木竜二 議員



竹元谷災害復旧及び八重地区河川護岸整備の状況について

総合的且つ効果的に防災対策を行う

昨年7月4日の集中豪雨によって、村内各所で被害が起きた。特に吐合地区から、八重地区河川周辺にかけては、元年の集中豪雨による竹元谷山腹崩壊の影響から、河川護岸や路肩崩壊がみられた。板谷河川に面する地区住民においては、いつ昨年同等の豪雨にみまわ

れるか、不安な心持で雨季の時期を過ごすこととなる。

西米良村の国土強

靱化地域計画では人命の保護が最大限に図られる

こと及び迅速な復旧復興

が基本目標にあげられて

いる。昨年来の災害箇所

については、「復旧・復興」

の遅れが人命の保護に大

きな影響を与える可能性

があることも考えられる。

災害復旧の進捗状況及び

今後の整備計画予定を



八重地区竹元谷

伺いたい。

村長

竹元谷山腹崩壊で

は、森林環境部において、

国の災害関連緊急治山事

業を活用して、地質調

査・設計及び崩壊箇所へ

の浸透防止・工事用の道

路整備に関しては完了し

た。現在は崩壊土砂の掘

削搬出と斜面の保護工事

を鋭意施行している。ま

た、崩壊箇所中断に水抜

きボーリングを行い、谷

を見込み、残りの護岸工

事及び根固め工事を引き

続き行う予定である。林

道竹元谷災害復旧につい

ては、道路構造物を順調

に設置し令和4年度に向

けて施工を行っている。

昨年は、河川氾濫抑制

の為吐合橋付近及び八重

下流の堆積土砂4千³mを

搬出し、今年度も2千³m

搬出を予定している。本

年度板谷川流域全体の土

目的に総合的且つ効果的に防災対策を行う。



八重地区河川復旧



八重地区竹元谷砂防ダム

西米良漁業協同組合の放流事業

漁業協同組合では、多くの皆様に魚取を楽しんで頂くために計画的に放流事業を行っています。

現在の放流状況や計画についてお知らせいたします。

鮎は、4月23日に約10万尾を村所・竹原・上米良に放流を行っています。次回の放流予定は6月中に小川・村所・竹原に10万尾を計画しています。

ウナギは、5月17日に小川20kg・村所(3カ所)66kg・竹原15kgを放流しました。大きさはバラバラで約20~30cm程度で1kg約20匹、全部で約2千匹です。

ヤマメは、6月7日~9日にかけて小川・村所・板谷・竹原・上米良に7万4千尾を放流しました。

※椎葉産の綺麗なヤマメだそうです。



編集後記

先日はイソップ物語にある、3人のレンガの職人の話を耳にしました。同じレンガ積み作業をしている職人に旅人が「何をしているのか」と尋ねると、三者三様の答えがかえってきます。一人目は不機嫌な顔で「レンガ積みをしているところだ。見ればわかるだろ！」

2人目は、「大きな壁を作っているところだ、この仕事のおかげで家族が養える」3人目は楽しそうな顔で「大聖堂を作っている。この大聖堂が完成したら多くの人が救われる。」と答えたそうです。

7月5日から、生産年齢人口といわれる世代のワクチン接種も開始されます。円滑な接種が行われることで、村内の労働の中枢となる方々の活力のきつかけになればと思います。湿度の高い日が続きます。体調には十分気を付けましょう。(黒木竜二)

議会広報常任委員会

委員長 黒木 竜二
副委員長 上米良 玲
委員 児玉 義和
白石 幸喜